情報通信技術を利用した学外連携

遠隔講義システムを活用した産学連携教育の実施

広島修道大学

広島修道大学では、2012 年度後期から、遠隔講義システムを活用してプロジェクトマネジメントに関する産学連携教育を実施する予定である。2011 年度はその準備段階として、「独立行政法人情報処理推進機構の支援※」を受け、産学で検討を進めてきた。

「※平成 23 年度高度 IT 人材キャリア形成支援計画策定事業実践的 IT 教育モデル拡大実証計画事業(経済産業省委託事業)」

1. 背景と目的

広島修道大学の経済科学部経済情報学科では、非常勤講師が担当する「プロジェクトマネジメント論」を3年後期に開講している。他方、担当する非常勤講師の本務校である広島市立大学情報科学部では、プロジェクトマネジメントに関する科目は開講されていなかった。

近年、国内企業における経済環境はグローバル化やサービス化が進んでおり、実践的 IT 教育のあり方も変化している。より一層求められているのは問題の発見と、その問題を解決する能力である。 プロジェクト形式の仕事でそれらの能力を発揮することができる学生の育成が求められている。

広島修道大学では、キャリア教育体系に基づき、全学的なキャリア教育を実施している。1・2年生は、全学的なキャリア科目を履修する。しかし、3年生といった就職活動を控えた時期にも、社会や企業、仕事について知り、考える科目があることが望ましい。本科目は、専門分野と社会とをつなぐ「実学的専門教育科目」として位置付け、2012年度より全面的に内容を刷新して実施する予定である。

2.連携の規模

本科目はプロジェクトマネジメントを 学ぶと同時に、キャリア教育としての側面 を持っており、産学連携によって実践的な IT 教育を進める予定である。具体的には、

広島修道大学 "就業力"を育てるための教育プログラム 1年生 2年生 3年生 4年生 修大基礎講座 大学生活と キャリアと人生 (キャリア入門) キャリア形成 実学的専門教育科目 地域プロジェクト科目 上記のほかに、ガイダンス等のキャリアサポートプログラムなどを合わせて 広島修道大学の教育体系を構築している。なお、 は全学的な科目であり、 は学部により設置される科目である。 プロジェクトマネジメント論は、 この中で実学的専門教育科目に位置付けて実施する。

2012 年度は一般社団法人 PMI 日本支部と株式会社三菱総合研究所と協力して、広島市立大学と科目を共同開講する。課題の提示など部分的には大学の教員と産業界からの講師が共同で授業を行うが、全 15 コマすべてにおいて、産業界からの講師が主に授業内容を担当する。

2 つの大学の学生が同時に授業を受講するためには、学生の大学間での移動が必要になる。また、本科目の趣旨に沿った内容で、講師を担当できる当該分野の専門家(社会人)は、関東地域に集中しており、かつ多忙である。そのため、企業から頻繁に現地に講師派遣(非常勤講師として勤務)を依頼するには効率が悪いので遠隔講義システムを利用して授業を行うこととなった。遠隔講義にすることによって、講義の質が低下する恐れがあるため、講義で教授する内容によって、対面講義も交えて実施することとしている。広島修道大学では経済科学部経済情報学科の3年生を中心に約50名、広島市立大学では情報科学部の2年生約150名が受講することを想定しており、200名の学生が1つの講義を同時に受講する規模で3拠点を接続した遠隔講義が行われる。

3.連携の内容

2 つの大学の学生は、それぞれ学部や学年が異なるため、受講する段階で有している知識などに差がある。これらの違いを考慮した教育内容の検討も必要であった。授業は、キャリア教育の側面から、企業環境の変化と求められる人材像、実例・演習を含んだ実践的なプロジェクトマネジメントとその

実践のために必要な能力 (コンピテンシー)、など幅広くカバーして、学生の動機づけを高めるよう構成する。2011 年度の同科目において、一般社団法人 PMI 日本支部から講師を招聘し、2 度の講義を行った。その際に学生アンケートを実施した結果、内容について概ね良い感触が得られた。以上のように、遠隔連携授業による教育効果を考慮した教育内容の検討、授業を共同実施するための事務的な手続き等に関し、2011 年度は関係者で打ち合わせを行いながら準備を進めてきた。

4. 連携の効果

プロジェクトマネジメントに関する講義を通して、人生における「仕事」とは何か、「働く」とはどういうことかを産業界の講師から学生が学ぶことが狙いの1つである。産学連携の効果としては、特にこの点から、大学あるいは大学間のみの連携では得られない効果が得られると考えている。

5. 今後の課題

刷新後の授業は2012年度の9月下旬から開始する。広島修道大学、広島市立大学、PMI日本支部を拠点とし、遠隔講義システムを用いて授業を実施する予定である。広島修道大学では、情報センターが遠隔連携授業の実施を技術的にサポートし、情報演習室を利用して実施する。開始に向けて、円滑な授業実施のための接続テストやリハーサル、学生アシスタントの指導などを実施する予定である。将来的には、地域の他大学との連携拡大、地域企業との連携が考えられるため、長期的な視野に基づいて展開させることを検討している。